山陽新聞　2022 年　2 月　4 日(金) おかくら（23面）

奉還町商店街 活性化を

建築学ぶ学生 プラン展示

岡山市北区の奉還町商店街を題材に、県内で建築を学ぶ学生らがまとめた活性化プランの展示会が、同商店街で開かれている。まちづくりのアイデアを競ったコンテストの出品作で、誘客につながる施設の模型や解説パネルが並ぶ。6日まで。

最優秀賞に輝いたプランの模型などが並ぶ会場

コンテストは「ワンデーエクササイズ」の名称で、建築事務所などでつくる岡山建築設計クラブが1994年から毎年開催。本年度は昨年10月にあり、大学や専門学校、高校の計6校から13チーム約100人が商店街沿いの約600平方㍍の活用法を発表した。

展示会は同区奉還町2丁目のフクシマ宅建事務所で行われており、13案のうち9案を披露。最優秀賞の県立大Aチームは不要になった家具や家電、本、のぼりなどを保管して再利用する施設を提案した。物品は修繕するほか、アーティストのアトリエも設けて芸術作品に再生して地域に還元する。

他に、緑あふれる敷地に店舗と学童保育機能を併設した複合施設、円を複数つなぎ合わせた形状の屋根が特徴的なアスレチック施設などのプランがある。

同クラブの小川修市代表幹事は「各プランからは、奉還町を盛り上げたいという思いが伝わってくる。地域を元気にする新たな議論のきっかけになれば」と話している。

入場無料。午前9時～午後5時（最終日は同3時まで）。

（小川耕平）

山陽新聞社提供